

# 産業振興

## (仮称)産業振興センターを設置したらどうか

鴨打喜久男議員(政和)

①現在東部市民センターを産業振興センターとして活用できないか。また、健康センターの一部や中央図書館横のプレハブ施設の活用はどうか。

②市が行っている創業者支援事業は何か。

③調布市の産業振興センターに対する評価は。

市長 ①いずれの施設も既にその処分が決定し、または他の目的に使用されている。

②平成17年4月に、小口事業資金融資あっせん制度を利用しやすい制度に改めた。平成18年度には創業・起業・経営革新セミナーの実施を予定している。

③評価の対象となる実績等を注意深く観察していきたい。

## 市民農園の公的役割と整備について

佐野都夫議員(政和)

①市民農園と生きがい菜園の違いと課題は。

②児童農園の成果と課題は。

③練馬区等で行っている農業体験農園の検討状況は。

④市民農園の位置づけをどう考えているか。

⑤いわゆる市民農園全体に対する基本的な考え方は。



となるよう働きかけていく。

③有意義なものと考えており、研究していきたい。

# 防災安全

## 小平消防署小川出張所の移転を契機に防災体制等の充実を

佐野都夫議員(政和)

①救急車配備の見直しは。

②戸建て住宅地区での防火水槽の整備状況は。

③高齢者世帯等への火災警報器設置の取り組みは。

④避難場所となっている施設のライブラインの確保状況は。

⑤消防団OBと、市や消防署との協働体制は。

市長 ①東京消防庁で検討中と聞いている。

②地区別の資料はないが、市全体の充足率は約73%である。

③一定の条件を満たす高齢者などの世帯等に対し、緊急通報システムとセットで火災安全システムを設置している。

④都市ガスと電気は指定公共機関による応急復旧を待つことになり、LPガス等は市内小売業者等への協力要請を行う。

⑤現状では取り決め等はない。

## 公園都市

浅倉成樹議員(公明)

①グリーンロードの文化・芸術等の事業評価は。

②商工会とタイアップして公園都市をつくるために人材養成をする、小平グリーンロード検定を実施すべきと考えるか。

③グリーンロードを中心とした市のさまざまな分野を進展、統合させていく公園都市ごだいらの構想が必要では。

市長 ①これまで文化・芸術面での大きな取り組みはないが、現在伝統的な食文化である小平糴うどんをふるさと村で提供し、大きな文化的効果も上げている。

②実施を念頭に置いて、グリーンロードが魅力的なスポット



## 小川1階に設置されたAED

佐野都夫議員(政和)

①救急車配備の見直しは。

②戸建て住宅地区での防火水槽の整備状況は。

③高齢者世帯等への火災警報器設置の取り組みは。

④避難場所となっている施設のライブラインの確保状況は。

⑤消防団OBと、市や消防署との協働体制は。

市長 ①東京消防庁で検討中と聞いている。

②地区別の資料はないが、市全体の充足率は約73%である。

③一定の条件を満たす高齢者などの世帯等に対し、緊急通報システムとセットで火災安全システムを設置している。

④都市ガスと電気は指定公共機関による応急復旧を待つことになり、LPガス等は市内小売業者等への協力要請を行う。

⑤現状では取り決め等はない。

## 地域防災について

桜田 誠議員(公明)

①地域防災対策の現状は。

②地域防災の活動拠点となる、地域安心安全ステーションの整備に対する考えは。

③AED(自動体外式除細動器)の講習会の反響は。また、

②平成15年が7件、16年が11件、17年は4件である。

③検討していない。

④地域の安全確保は地域の協力を必要とするので、市民の自主的な活動を期待する。

⑤下校時間帯にアナウンスをしながら通学路のパトロールを実施している。

市長 ⑥導入した自治体の動向を見守っていきたい。

# 公園用水

## あじさい公園の用水はザリガニのとれる小川に整備して

鴨打喜久男議員(政和)

①小さな生物を育てる、とることのできる、そして水遊びのできる空間をつくれなから。

②公園の池と用水路を結び、水と緑の公園にしてはどうか。

③小平市用水路活用計画の課題と展望は。

市長 ①水生生物がすめる環境をつくる工夫をして、水に親しみ観察できる用水路として整備していきたい。

②地形的に高低差があるため

▲あじさい公園(美園町一丁目)



用水路を結ぶことは難しいが、公園を囲んでいる用水路を整備し、グリーンロードの緑と連携した公園にしたい。

③計画は、地域特性に見合う活用方法を定めたものである。策定から10年がたち、現在では地域の特性や事情に合わせた整備が難しい箇所があるなどの課題があるため、今後活用区分等を見直ししていく。

# 道路

## 野火止通りの暗渠を開放し潤いある水路空間を創出して

齊藤 進議員(フオ)

①富士見橋から第2富士見橋の間の暗渠を開放できないか。

②用水を清流化して、虫を育成できないか。

③子どもたちが水遊びをする場所もあるので、下水の3次処理水ではなく多摩川の自然水を流せないか。また、処理水の安全性をPRできるか。

④排水管やごみが見受けられるが、環境再生の方策は。

市長 ①経費等の問題のほか東村山市との協議が必要である。

市長 ①平成17年度当初は電柱

②現在のところ困難である。

③野火止用水保全対策協議会を通じて要望している。水質検査で異常値は出ていないが水遊びについては認められていないのでPRは考えていない。

④委託業者と職員で対応している。残っている排水管については順次対応していく。

## 電柱等の広告占用料の見直し等について

西 克彦議員(共産)

①道路占用料徴収対象の電柱と電話柱の数、及び広告別状況は。徴収金額の5年ごとの推移は。

②減免措置及び条例上の占用料の根拠と、減免額見直しの検討状況は。

③情報公開の観点から、小平市道路占用料徴収条例第3条の規定による減免措置の基準を条例集に載せるべきでは。

市長 ①平成17年度当初は電柱

が千二百93本、電柱が千五百66本で、広告物は合計で千八百94個ある。徴収金額は平成13年度が約3億6千万円、17年度は約3億3千万円である。

②減免措置は、道路占用料徴収条例の基準に基づいて行っている。条例上の占用料は、固定資産税評価額と占有面積等を基本として算出している。見直しは都や近隣の動向等を考慮しながら対応していきたい。

③市民生活との関係もあることから、財政状況等を踏まえ検討したい。

## 喜平橋交差点歩道にかかるイチョウと交通安全について

高橋三男議員(フオ)

①保存樹木No.188は幹の半分が歩道に出ているように見えるが、根回りなどのくらしか。

②境界査定と交通安全の面から詳細に調査研究をすべきではないか。

市長 ①地表面での幹の太さは直径90センチメートルある。樹木は歩道の縁石から40センチメートル

ど歩道上にあり、歩道の有効幅員は140センチメートルである。

②当該道路の管理をしている都から、境界査定は終了し、当該樹木については今後の道路拡幅計画に伴い交通安全上危険になるため、移植か伐採を検討するとの聞いている。

▲喜平橋交差点のイチョウの木

# 一般質問のまとめ

平成15年6月定例会～平成18年3月定例会

### ◆質問者数・件数

定例会名	質問者数	質問件数
15年 6月	23	64
15年 9月	21	55
15年12月	24	61
16年 3月	24	60
16年 6月	23	54
16年 9月	21	56
16年12月	22	50
17年 3月	21	51
17年 6月	19	45
17年 9月	20	45
17年12月	21	54
18年 3月	20	50
合計	259	645
平均	21.6人	53.8件

### ◆項目別件数

項目	件数
行政一般	118
教育・文化	89
都市整備	78
福祉	70
道路	56
公共施設	45
環境・上下水	44
児童・女性	41
防災・安全	32
公園・用水	30
産業振興	24
医療・健康	18
合計	645件

### 項目別割合

